

令和 7 年度業務報告

第 5 期指定管理期間(以下、「今期」という。)は、1.広場としての劇場、2.広がる劇場、3.育てる劇場、4.公の施設としての使命を果たす劇場の 4 点を基本方針として、県民の文化振興に取り組んでいます。

今期 2 年目を迎えた令和 7 年度は、12 月から県施工による駐車場舗装工事が開始し、駐車台数減での営業をおこなったほか、令和 8 年度の大規模改修に伴う閉館を見据え、業務運営にあたりました。

施設管理事業では、コンサート・演劇ホール両ホールの利用率は、昨年度に引き続き年間目標をクリアしました。年間来場者数は目標の 53 万人には届かなかったものの 48.5 万人余と好調で、昨年度比での達成率は 5 ポイントアップしました。

文化事業では、台湾をはじめとするアジアとの交流が急速に進む熊本で、文化芸術のゲートウェイとしての役割を果たすべく「シアターアジア」をテーマに、国際色豊かな文化事業を展開しました。

とりわけ台湾を代表するナショナルオーケストラ「台湾フィルハーモニック」公演、日本語を母語としない俳優陣による演劇公演「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」、県劇盆踊り、ホワイエサロンシリーズ「ホワイエ薪能」はシアターアジア事業の核となり、アジア圏に留まらず外国人の鑑賞者も多く見られ、文化芸術を通じた国際交流の醸成につながりました。

また、九州交響楽団との連携協定後第一弾の事業として「九響 0 歳からのオーケストラ」を実施。チケットは完売し、多くの乳幼児・家族が鑑賞しました。

これら特色のある文化事業の展開により、本年度の目標入場者数 25,000 人に対し、入場者・参加者は 36,000 人を超え、目標を大幅に上回りました。

そのほか、全国公立文化施設協会九州支部正会員 184 施設で組織される同協会九州支部の支部長館として業務にあたりました。姜館長はじめ職員が九州支部委員会や全公文理事会等に参加したほか、各施設に対し、同支部主催の会議や研修会への参加を積極的に呼びかけるなど、支部委員間の連携強化を図り、同協会九州支部の組織力向上に繋げました。

2 管理運営業務の実施状況

(1) 財団の活動

□評議員会、理事会

開催日	内容
4月16日	第86回理事会（決議の省略） 第1号議案 理事候補者の選考（辞任による後任者の選考） 第2号議案 第63回評議員会の招集 第3号議案 評議員候補者の推薦（辞任による後任者の推薦）
4月30日	第63回評議員会（決議の省略） 第1号議案 理事の選任（辞任による後任者の選任）
5月14日	第87回 理事会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（令和6年度収支予算の第2回補正） 第2号議案 令和6年度業務報告 第3号議案 令和6年度決算報告 第4号議案 令和7年度収支予算の第1回補正（案） 第5号議案 規程の廃止（特定準備資金取扱規程の廃止） 第6号議案 熊本県立劇場館長の選任 第7号議案 第64回評議員会の招集
5月29日	第64回 評議員会 第1号議案 専決処分の報告及び承認（令和6年度収支予算の第2回補正） 第2号議案 令和6年度業務報告 第3号議案 令和6年度決算報告 第4号議案 令和7年度収支予算の第1回補正（案）
8月19日	第88回 理事会（決議の省略） 第1号議案 第65回評議員会の招集
8月26日	第65回評議員会（決議の省略） 第1号議案 理事の選任（辞任による後任者の選任）
11月6日	第89回理事会 第1号議案 令和8年度文化事業 第2号議案 評議員選定委員会委員の選任
令和8年 2月6日	第90回理事会 第1号議案 令和8年度事業計画（案） 第2号議案 令和8年度収支予算（案） 第3号議案 諸規程の改定 第4号議案 公益充実資金の積立 第5号議案 公益目的事業継続予備財産 第6号議案 役員等賠償責任保険契約の締結 第7号議案 役員候補者の選考 第8号議案 第66回評議員会の招集
2月27日	第66回評議員会 第1号議案 令和8年度事業計画（案） 第2号議案 令和8年度収支予算（案） 第3号議案 役員を選任
3月31日	第91回理事会（決議の省略） 第1号議案 評議員候補者の推薦 第2号議案 常務理事の選定 第3号議案 評議員選定委員会委員の選任

□監査

開催日	内容
5月8日	監事監査 (熊本県立劇場 監事)
6月3日	熊本県立劇場指定管理業務に係る実地調査 (熊本県 観光文化政策課)
11月7日	財政的援助団体等監査 (熊本県監査委員事務局)
令和8年 1月13日	公益法人立入検査 (熊本県 観光文化政策課)

□文化事業評価委員会

開催日	内容
10月16日	第1回文化事業評価委員会
令和8年 3月30日	第2回文化事業評価委員会

□役員候補者選考委員会

開催日	内容
4月9日	(決議の省略) 第1号議案 理事候補者の選考(辞任による後任者の選考)
8月8日	(決議の省略) 第1号議案 理事候補者の選考(辞任による後任者の選考)
令和8年 1月25日	(決議の省略) 第1号議案 理事候補者の選考(辞任による後任者の選考)

□評議員選定委員会

決議の日	内容
4月23日	(決議の省略) 第1号議案 評議員の選任(辞任による後任者の選任)

□熊本県立劇場事業評価検討委員会(熊本県)

開催日	内容
7月15日	令和6年度第1回熊本県立劇場事業評価検討委員会 (指定管理者として出席)

(2) 県立劇場の使用の許可に関する業務

① 県立劇場の使用の許可に関する業務

県立劇場条例及び同条施行規則ならびに熊本県立劇場管理運営業務仕様書等に記載されている事項を遵守し、公平かつ公正に取り扱い、適正に実施しました。

② 施設の利用状況

利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、施設の維持管理および運営に努めました。令和7年度の利用率と来館者数は、以下のとおりです。(資料2[施設別利用状況]参照)

[利用率の目標と実績]

施設名	年間目標	実績	差
コンサートホール	74.0%	78.9%	4.9P
演劇ホール	82.0%	85.4%	3.4P

[来館者数の目標と実績]

	年間目標	実績	達成率
来館者数	530,000人	485,309人	91.6%

(資料2～4参照)

(3) 実演芸術を担う人材を育成し確保する業務

① 劇場人の育成

実演芸術を担う人材の育成を図る「劇場人育成プログラム」を開催しました。参加対象は、県立劇場職員を含めた熊公文協加盟館職員ですが、一部公開講座とし、多くの参加者を募ったところ、のべ132館349名が参加。参加館・参加者数ともに昨年度を大きく上回りました。

回	内 容	講 師	日程	参加者 (人)
1	概論 公共劇場の運営について 「公立文化施設は何がダメなのか？ ～前に進むための考察～」	三重県文化会館 副館長 松浦茂之	4/17(木)	57
2	舞台技術(1) 照明 (初級) 「照明の基礎知識と基本作業」	東京文化会館 乳原一美	7/10(木)	52
3	舞台技術(2) 音響 (初級) 「音響の基礎知識と基本作業」	東京芸術劇場 石丸耕一	7/10(木)	52
4	改修工事 「未来への投資となる改修を考える」	空間創造研究所 草加叔也	8/28(木)	46

5	舞台技術(1) 照明 (中級) 「舞台での明かりづくり」	東京文化会館 乳原一美	9/24(水)	35
6	舞台技術(2) 音響 (中級) 「劇場での音づくりと操作」	東京芸術劇場 石丸耕一	9/24(水)	36
7	会計 「インボイス制度とフリーランス新法」	公認会計士山内真理事務所 山内真理	10/9(木)	28
8	メンタルヘルスとハラスメント	ciel 社会保険労務士法人 吉村睦美	11/27(木)	21
9	[公開講座] 著作権講座	骨董通り法律事務所 岡本健太郎	R8. 3/1(日)	22

② 職員研修等実施状況

職員研修の充実を図り、職員一人ひとりの専門性や実践力の成長を促すため、年間計画を立てて研修を行っています。

令和7年度は、全職員を対象とした心肺蘇生・AED研修のほか、全国公立文化施設協会九州支部の業務マネジメントセミナー等、専門性の向上を目的とした研修を計画的に受講しました。

(4) 県内公立文化施設および関係機関等との連携に関する業務

① 熊本県公立文化施設協議会

同協議会には令和8年3月末現在で34館が加盟していますが、県立劇場は会長館として県内全域の文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るためさまざまな事業を行っています。

加盟館34館を県北・県央・県南の3ブロックに分け、地域ごとの課題を主体的に研究・解決することを目的として、ブロックごとの活動を強化しています。

上期に実施したブロック会議(計3回)で、研修のテーマ、開催時期等について議論・調整を行い、下期にブロック毎の課題に応じた研修会(計3回)を実施し、延べ51館86名が参加しました。

[熊本県公立文化施設協議会 活動状況]

日程	内容	会場
4/17	総会	熊本県立劇場
8/4	県南ブロック会議	八代市鏡文化センター
9/3	県央ブロック会議	市民会館シアーズホーム夢ホール
9/4	県北ブロック会議	荒尾総合文化センター
11/25	第1回理事会	熊本県立劇場
R8. 1/28	県央ブロック研修「清和文楽」公演鑑賞	清和文楽館
2/16~17	県南ブロック研修 「地域間連携を見据えた現状と課題」	もやい館
3/12	県北ブロック研修「八千代座」視察ほか	八千代座、山鹿市民交流センター
3/25	第2回理事会	熊本県立劇場

〔県立劇場備品の貸し出し〕

熊公文協加盟館からの要望に基づき、必要な備品の貸し出しを行いました。

貸し出し先	貸し出し備品等	期間
宇土市民会館	道具幕（野面 旧、熊本城）／2本	11/14～18
あさぎり町須恵文化ホール	屏風（鳥の子）／1双	R8. 2/20～24

そのほか、県外で開催される全国公立文化施設協会主催の研修に参加する際の旅費の一部を助成する全国公文協研修参加助成制度を活用して、愛知県、宮崎県で開催された研修会に延べ5館5名が参加しました。加盟館からは限られた予算で運営している中小規模館にとっては有意義な制度であり、今後も継続してほしい等の意見が多く寄せられました。

〔県立劇場のチケットシステムの活用〕

熊公文協加盟館等が実施する公演チケットの販売業務を県立劇場で受託し販売。7施設計20件受託しました。

オンライン決済やコンビニ発券が可能のため、利用者にとってチケットの入手方法が容易となり、利便性の向上につながりました。

公立文化施設等	受託数(件)	公立文化施設等	受託数(件)
益城町文化会館	6	ながす未来館	2
宇土市民会館	4	水俣市文化会館	1
玉名市民会館	3	あさぎり町須恵文化センター	1
八代市鏡文化センター	3		

②（公社）全国公立文化施設協会及び同会九州支部

令和7年度は、全国公立文化施設協会九州支部の支部長館（任期2年）として、また同協会の理事に姜館長が就任。熊本県はもとより九州の芸術文化を支える拠点施設として会議等に参画し、九州はもとより全国の劇場・音楽堂等との連携を強化しました。

〔全公文協及び同会九州支部 活動状況〕

日程	内容	会場
5/20	全公文協 第1回理事会	東京都中小企業会館
6/12～13	全公文協 定時総会・研究大会	愛知県芸術劇場
7/3	九州支部 第1回支部委員会	メディキット県民文化センター
7/3～4	九州支部 業務マネジメントセミナー	メディキット県民文化センター
10/2～3	文化庁委託事業地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（九州地域）	市民会館シアーズホーム夢ホール
10/22	全公文協 第2回理事会	東京都中小企業会館
11/13	九州支部 第2回支部委員会	（オンライン）

11/20～21	文化庁委託事業地域別劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会（九州地域）	iichiko 総合文化センター
R8. 2/19	全公文協 第3回理事会	東京都中小企業会館
3/5	九州支部 第3回支部委員会	長崎ブリックホール

③ 関係機関との連携

[台湾高雄市文化センターとの姉妹劇場提携に関する協定]

5月1日に高雄市政府文化局文化センター管理處廖處長と県立劇場姜館長で、高雄市立文化センター至徳堂と姉妹劇場提携に関する協定を締結しました（電子データによる）。同センターとは今後、実演芸術分野において交流を図り、連携を深めていきます。

[ゆめマート大江店]

熊本県と㈱イズミの地域活性化包括連携協定に基づき、県内のゆめタウン、イオン、マックスバリュ各店舗に文化事業のポスターやチラシ設置等広報の協力を依頼しています。

ゆめマート大江店とは、県劇盆踊りでの出店協力、交通渋滞回避のための情報提供など、連携して取り組みました。

④ インターンシップ等受入状況

インターンシップや職場体験を積極的に受け入れており、熊本学園大学の長期研修（約3か月）をはじめとする大学からのインターンシップや小学・中学・高校生の職場体験学習、バックステージツアーによる施設見学等を積極的に行っています。

今年度は熊本学園大学のインターンシップと、熊本市立白川中学校、熊本県立湧心館高等学校の職場体験生を受け入れました。

[インターンシップ等受入状況]

受入日	受入校
7/8～10	熊本市立白川中学校 2年／3名 (職場体験)
7/22～23	熊本県立湧心館高等学校 2年／1名 (職場体験)
9/24～12/9	熊本学園大学 2年／2名 (インターンシップ)

バックステージツアーでは、学校等の要望に合わせたプログラムを企画。熊本市立大江小学校 4 年生に劇場内のバリアフリーやユニバーサルデザインに視点を置いたツアーを実施したほか、崇城大学工学部建築学科の学生は、施設内の動線や音響について建築学的な視点から学びました。

[バックステージツアー]

実施日	受入団体	参加者
6/3	熊本市立大江小学校 4 年生	112 人
8/19	熊本市立大江小学校 家庭教育学級	42 人
9/22	崇城大学工学部建築学科	40 人
10/1	熊本市立必由館高等学校 音楽コース	10 人
10/23	熊本市立託麻原小学校 2 年生	89 人
R8. 1/23	熊本大学大学院先端科学研究部 (工学部土木建築学科建築音響研究室)	12 人
R8. 1/29	熊本市教育支援センター「フレンドリーあいぱる大江教室」、 「託麻教室」、「新町教室」、「森都心教室」	45 人

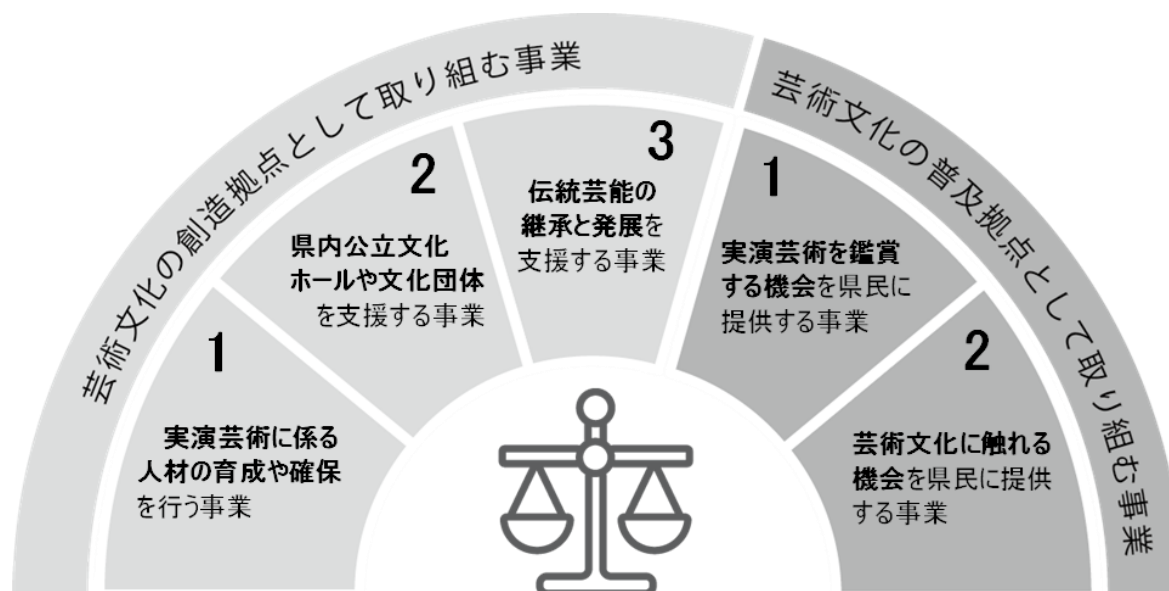
[視察団体の受け入れ]

実施日	受入団体
8/27	三重県総合文化センター総務部／職員 1 名 (施設見学、防災訓練、改修工事等意見交換)
R8. 2/3	群馬県地域総勢部地域創生課／職員 2 名、(同) デロイトトーマツ／2 名 (群馬県「新しい文化拠点」検討に向けたヒヤリングと施設見学)

(5) 県民の文化の振興に必要な業務

① 文化事業の基本的な考え方

指定管理者事業計画書に掲げた下記の事業体系に基づき取り組んでいます。



また、県立劇場条例の一部改正により、実演芸術を担う人材の育成や実演芸術の振興のための関係機関等との連携強化が求められていることを受け、実演芸術家を育成する事業や、制作者や技術者といった専門人材育成に係る事業、関係機関との連携事業に重点的に取り組んでいます。

② 令和7年度に実施した主な事業

i) 「シアターアジア」事業のキックオフ

台湾をはじめとするアジアとの交流が急速に進む熊本で、文化芸術のゲートウェイとしての役割を果たすべく、令和7年度より「シアターアジア」をテーマに国際色豊かな事業をラインアップしています。令和7年度は台湾を代表するナショナルオーケストラ「台湾フィルハーモニック」を招聘。TSMC 関連の教育財団の協力を得て、ソリストのポール・ホワン氏によるヴァイオリンマスタークラスも開講しました。



台湾フィルハーモニック

8月には、日本語を母語としない俳優とともに創る話題作「宇宙船イン・ビトゥーン号の窓」を上演。演出家によるアフタートークを実施するなど、作品の理解を深める取り組みも行いました。

また2月には、コンサートホールホワイエに能舞台を設え「ホワイエ薪能」を上演しました。日本の伝統芸能を見つめ直し、発信する事業も行っています。

ii) 人材育成事業

制作者や技術者等、実演芸術を担う専門人材の育成に係る事業として、公立文化ホール職員向けの研修プログラム「劇場人育成プログラム」を継続実施しています。令和7年度は舞台技術（照明・音響）等、9回の研修を実施しました。

また、実演家の育成として、福岡・長崎・大分の拠点館と連携し、クラシック音楽の実演家を育成する「ジュニアオーケストラ事業」を継続実施しており、令和7年度はアルカス SASEBO で合同演奏会を実施。また、東京藝術大学と協働で実施する「東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト」も継続して取り組みました。

併せて、令和6年度に立ち上げた「けんげきキッズプログラム」として、令和7年度は九州交響楽団「九響 0歳からのオーケストラ」を初開催しました。未来を担う子どもたちに優れた文化芸術体験を提供することにより、豊かな人間性を涵養するとともに、将来の文化芸術の担い手や観客育成を図ります。



劇場人育成プログラム（照明）

iii) 県内一円での活動

実演芸術の振興のための県内文化施設や関係機関等と連携した事業として、県内各地の市町村ホールとの共催公演（「市町村ネットワーク事業」）を令和7年度は益城町、宇城市、御船町などで9公演を実施しました。

iv) 県民参加の創作ステージ

例年企画制作している県民参加の創作ステージ「熊本県芸術文化祭オープニングステージ」、令和7年度は「舞台づくり学校」と題し、舞台が創られる過程に参加・体験できる機会を設けました。6月の学生クリエイター開校式、7月の子どもパフォーマー開校式を皮切りに、毎週末クリエイションを実施。ダンス・音楽・衣裳・映像の各チームが全力で取り組み、迎えた本番ではその集大成を舞台上で披露しました。



熊本県芸術文化祭オープニングステージ

v) 海外オーケストラなど、質の高い舞台芸術公演の招聘

コンサートホールにおいては海外オーケストラや国内の実力派オーケストラ、演劇ホールにおいては有力カンパニー制作の演劇作品や舞踊作品を、県立劇場の幅広いネットワークを活かし招聘。令和7年度はシアターアジア事業に位置づけた「台湾フィルハーモニック」「宇宙船イン・ビトゥーン号の窓」のほか、「小曽根真 No Name Horses」、「第19回シヨパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラ・コンサート」などを開催しました。

③ 文化事業の入場者・参加者数

令和7年度の目標値 25,000 人に対し 36,346 人で、目標を 45%も大きく上回る結果となりました。「九響0歳からのオーケストラ」、「小曽根真 No Name Horses」、「第19回シヨパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラ・コンサート」はチケット完売。ホワイエサロンシリーズ「芬の集」、朗読「夢十夜」、「ホワイエ薪能」は、当初の設定席数を上回る入場者でした。

④ 入場者アンケート

公演別の満足度では、「ホワイエサロンシリーズ vol.11 芬の集」「同 vol.13 ホワイエ薪能」、「小曽根真 No Name Horses」の3公演が100%、アンケートをとった8公演の平均は97.3%と、非常に高い満足度を得ました。

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
ホワイエサロンシリーズ vol.11 芬の集	47.1	100.0
台湾フィルハーモニック	18.5	97.9
宇宙船イン・ビトウイーン号の窓	32.9	90.6
ホワイエサロンシリーズ vol.12 夢十夜	49.4	94.9
第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ はじまり はじまり～県劇舞台づくり学校～	25.5	95.6
小曽根真 No Name Horses	19.1	100.0
第19回シヨパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラ・コンサート	14.5	99.6
ホワイエサロンシリーズ vol.13 ホワイエ薪能	22.6	100.0

⑤ 多様な財源の確保

文化事業では、文化庁の「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」、「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」に採択され、助成金 18,387 千円を獲得したほか、熊本県労働局の「両立支援等助成金（育児休業等支援コース）」で 800 千円を獲得。また、「シヨパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラ・コンサート」では、肥後銀行から協賛金を受けるなど、多様な財源の確保に努めました。

⑥ 自己評価

熊本県立劇場の行う文化事業について、県内有識者からの意見を聴取し文化事業を評価するため、平成30年度から文化事業評価委員会を設置しています。令和7年度は10月と3月に文化事業評価委員会を開催しました。

資料6 [文化事業評価委員会議事録] 参照

⑦ 個別文化事業の状況

資料7 [令和7年度文化事業] 参照

(6) 県立劇場の広報に関する業務

広報活動は、県民と県立劇場をつなぐ重要な活動で、人と人をつなぐ「共生の広場」としての劇場を目指すため、県民との双方向のコミュニケーションを図ります。

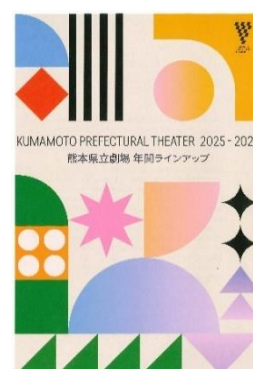
広報媒体を利用して、文化芸術活動の拠点となる県立劇場の役割や、文化芸術活動の裾野を広げるための情報発信を行うとともに、財団の活動に対する県民の理解促進を図り、来館者や利用者の獲得に努めます。

① 広報ワーキンググループの活動

所属グループを超えた広報ワーキンググループメンバーを中心に、財団全体の広報活動を行いました。令和7年度は全10回のミーティングを実施し、広報誌以外での情報発信も積極的に行いました。

② 文化事業年間パンフレットの製作・配布

令和7年度の文化事業を紹介する年間パンフレットを製作。20,000部を県内外の公立文化ホールや公共施設、教育機関等に配布しました。



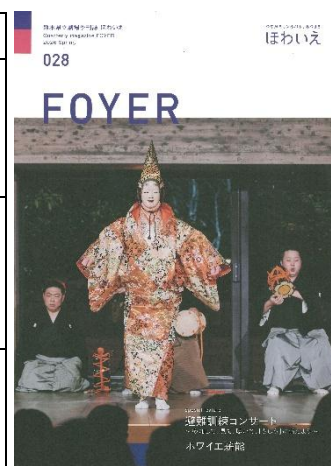
③ 季刊誌「ほわいえ」

広報誌のコンセプトを「つながる、ひろがる、あつまる ほわいえ」とし、県立劇場の活動全般の情報発信を強化。県民の県立劇場への理解を深めるよう発行作業を行っています。

年4回発行する季刊誌ほわいえは、web版の導入でバックナンバーの検索が容易になり、季刊誌が届かない人・場所への広報が広がり、より多くの人へのアプローチができるようになりました。

■熊本県立劇場季刊誌ほわいえ（年4回、毎3,000部発行）

発行日	内容
6月20日	2025 夏号 vol.025 特集：シアターアジアオープニングシンポジウム 事業：けんげきッズプログラム 九響0歳からのオーケストラ
9月20日	2025 秋号 vol.026 特集：特別対談 岡田利規×姜尚中 事業：熊本県芸術文化祭オープニングステージ はじまりはじまり クリエイション日記
12月20日	2025 冬号 vol.27 特集：熊本県芸術文化祭オープニングステージ はじまりはじまり～県劇舞台づくり学校～ 事業：コンサート会場としてのホワイエ
令和8年 3月20日	2026 春号 vol.28 特集：熊本県立劇場×熊本市消防音楽隊 避難訓練コンサート 事業：ホワイエ薪能



④ 季刊誌ほわいえ デジタルブック

年4回発行する季刊誌ほわいえは、毎号3,000部を県内教育機関や公共施設等に配架しています。県立劇場の取り組みや活動を県内に留まらず、できるだけ多くの人に発信するためデジタル化を導入。従来のPDFデータと比較しても表示速度やページめくり、拡大縮小などの操作性が向上し、ユーザーの利便性も高まったことで、閲覧数はほぼ横ばいですが、閲覧時間は20%程度増えました。



⑤ ホームページでの発信

劇場ホームページでは催事に関する案内のほか、チケット発売・完売情報、料金改定のお知らせなど、迅速な情報発信に努めました。

ホームページ(HP)の更新、SNSのアップ数及びフォロワー数は以下のとおりです。

SNS		令和7年度	令和6年度
ホームページ	アップ数	84回	66回
Facebook	フォロワー	2,419人	2,221人
	アップ	107回	92回
X(旧 Twitter)	フォロワー	1,354人	1,282人
	アップ	120回	163回
Instagram	フォロワー	2,299人	1,423人
	アップ	98回	53回
YouTube 「ケンゲキアートチャンネル」	登録者	1,130人	1,090人
	アップ	2回	0回

⑥ ウェブサイトの多言語対応

県内在住の外国人の来館をはじめ、チケット購入については海外からのアクセスが増加するなどのニーズも高まっていることから、ホームページを多言語対応（英語、中国語[簡体・繁体]、韓国語、フランス語、ドイツ語）としました。



(7) 県立劇場の施設等の使用料の徴収および納付に関する業務

① 使用料の収納実績

県立劇場の使用料の収納については、県の会計規則に基づき、適正に納付を行いました。
令和7年度の施設使用料収入は、次のとおりです。

[施設使用料収納実績]

施設名	施設使用料 収入見込額	実績	達成率
設備使用料	133,083,000円	109,730,090円	82.5%
駐車場使用料	40,489,000円	69,526,800円	171.7%

② 施設等使用料以外の収入

令和7年度の代行手数料等の雑収入は、12,087千円でした。

なかでもプレイガイド業務は6,337千円と全体の52%を超え、県立劇場で開催される公演に留まらず、県内公立文化施設で行われる公演チケットの受託販売が件数・金額ともに増えています。

(文化事業に係る収入については別途記載)

[代行手数料等 収入実績]

項目	令和7年度	令和6年度
代行、付帯サービス		
プレイガイド業務（チケット登録・販売・代引・払戻）	6,337,185円	5,806,101円
各種手配（看板、調律、物販手数料等）、コピー等	1,228,203円	1,417,224円
自動販売機手数料等	746,154円	792,342円
法人備品		
AV機器（DVDプレイヤー、音響機器）	224,000円	66,690円
映像機器（プロジェクター、カメラレンズ）	3,213,000円	3,924,750円
舞台備品（LED、照明・音響セット、インターネットほか）	241,990円	169,620円
その他備品の貸出（譜面台、クロス、椅子カバー）	97,179円	73,030円
合計	12,087,711円	12,249,757円

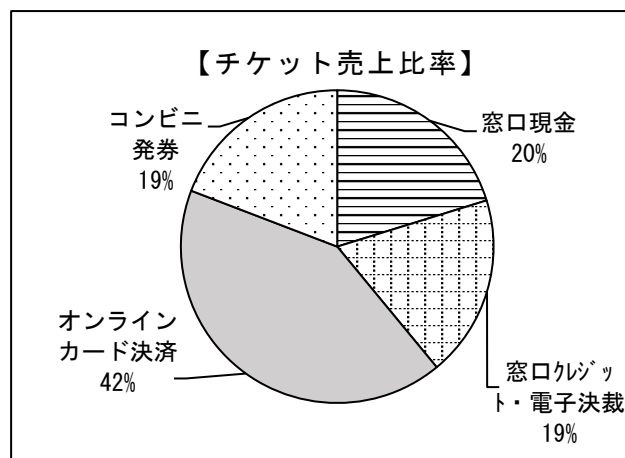
その他の収入		
広告料（HP、季刊誌）	135,000円	210,000円
講演料（館長の講演料等）	1,675,382円	687,520円
助成金（育児休業等支援事業）	800,000円	600,000円
合計	2,610,382円	1,497,520円

(8) 実演芸術の公演または発表のための施設等の提供を行う業務

① プレイガイド業務の強化

平成31年4月にチケット販売システムを更新、インターネット上でのチケット購入、クレジットカード決済、コンビニエンスストアでの発券等、鑑賞者の利便性向上を進めてきました。

令和7年度のチケット販売実績は、過去最高の2万1千枚に達し、販売金額は1億円を超えました。また、劇場窓口とコンビニ利用者の比率は4対6とコンビニ利用が確実に増えています。劇場窓口での購入は、公演鑑賞で来館時の「ついで買い」が、また窓口・コンビニ発券ともにキャッシュレス化が進んでいることが窺えます。



[チケット販売実績]

	令和7年度	令和6年度
販売枚数	21,509枚	17,477枚
販売金額	106,648,700円	59,666,500円

また、県立劇場以外の公立文化施設で開催のチケットの受託販売も、令和7年度は36件とわずかではありますが増加（前年度比+3件）。引き続き「県劇プレイガイド」の定着を進めます。

② 先行予約会員制度

令和元年6月から先行予約会員に向け、文化事業のチケット先行予約販売を実施しています。

先行予約会員には、令和8年3月末時点で22,680人（令和7年3月末17,043人、5,637人増）が登録しています。会員にはメールマガジンで公演の案内を配信（不定期）。広報ツールのひとつとして活用しています。

③ 練習室等の予約の簡略化

ホール以外のリハーサル室・練習室等はメールでの予約が可能ですが、メールの未着や、二重予約等のトラブルが起きていました。今年度リハーサル室・練習室・和室利用の申し込み用のフォームを更新し、スムーズに予約ができるようになりました。

また、舞台図面、備品リストのページを更新し、QRコードからのアクセスを可能としたことで、劇場を利用する舞台技術者が容易に図面等を入手できるようになりました。

④ 舞台技術職員の弾力的な配置対応

舞台転換など演出が多様な公演では、安全を確保しスムーズな舞台進行を行うため、必要に応じ最大5人までの舞台技術職員（舞台・照明・音響）を配置しました。特に、舞台機構が複雑な催事は仕込みから安全管理要員を配置し、舞台上の事故防止に努めました。令和7年度は118公演（前年度比±0）、のべ150人（仕込み、リハーサル日を含む、同比25人減）を増員しました。

⑤ モニタリング

公演終了後に利用者アンケートを実施し、ホール利用者の満足度と改善要望事項を個別に把握し、管理運営に反映しています。

また、7月からは練習室等の利用団体からの声を集めるため、アンケートフォームを刷新。利用後、WEB上からも回答でき、利用者からの要望をもとに備品を設置するなど、サービス向上に努めました。

[利用者アンケート]

(資料5[利用者アンケート]参照)

評価項目 (4段階評価)	令和7年度 回収 53 団体	令和6年度 回収 17 団体
1 満足度 〈4:大変満足 3:概ね満足 2:やや不満 1:不満〉	3.7	—
2 利用料金 〈4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い〉	2.7	2.3
3 利用手続き 〈4:円滑 3:概ね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑〉	3.7	3.7
4 フロア・舞台職員の接客態度や対応 〈4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない〉	3.9	3.9
5 舞台・音響・照明の設備 〈4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない〉	3.8	3.8
6 また利用したいと思うか 〈4:ぜひ利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない〉	4.0	3.9
平均	3.6	3.6

◎ご意見 (抜粋)

- ・例年利用させていただいていることから、劇場側から提案をいただき、イベントをスムーズに進めることができました。
- ・初めてのコンサートで運営面に不安があったが、劇場スタッフの皆さまにはご配慮いただき、助けていただきました。
- ・フルコンのピアノに代わることで、アンサンブルのバランスがとりづらくなるのではないかと懸念しています(コンサートホールホワイエでの公演)。そのほかはとても気に入っています。
- ・(演劇ホール)2階席へのエレベーターがないのが少し不便。
- ・クーラーを各部屋で調整できるようにしてほしい。(練習室利用者)
- ・スタッフの皆さまにご協力いただき、無事に終えることができありがとうございました。2年間使えないのがとても残念です。
- ・利用日に確実に駐車できるようにしていただきたい。

⑥ お問合せ・お客様の声

ホームページ内にお問合せのページを、館内にご意見箱を設置し「お客様の声」を収集しました。また、ホームページ上のお問合せフォームを改修。二段階方式送信にすることで、迷惑メールの受信を大幅に減らすことができました。

[HP お問合せ／84 件]

カテゴリー	主な内容	件数
施設利用	施設の予約、使用料支払い・キャンセル、駐車場、舞台メールアドレス、下見依頼等	26
チケット	登録、購入、予約キャンセル、発売日、当日券、子ども招待、外国人の購入等	17
公演・催事	公演プログラム（曲目）、ネットワーク事業、チラシ折込・配架等	10
遺失物	遺失物、忘れ物	8
県劇グッズ	要望、オリジナルグッズプレゼント希望	5
広報	季刊誌ほわいえ、HP 掲載の写真使用	3
その他	文化事業企画提案、インターンシップ、館長への連絡等	15

[お客様の声／回収 10 件]（館内設置のご意見箱への投函より抜粋）

- 清掃、景観、安全・防犯対策、駐車場、接客対応の 5 項目について 5 段階評価 —
- ・ゴミが少なくとてもいい空間でしたが、駐車場が少ない。（駐車場「あまりよくない」、他項目「とてもよい」「よい」）
 - ・ロビーに椅子が欲しい（全項目「とてもよい」）
 - ・レストラン内が劇場に合った美しいレイアウトだと良い（全項目「とてもよい」）
コンサートの時、駐車場まで列が並び、雨が降ってきた。列の並びを工夫して（駐車場「わるい」）
 - ・駐車場の幅が狭いので広くして（駐車場「わるい」）
 - ・何十年も県劇に通っていますが、来ると青春の気持ちに戻ります（全項目「とてもよい」）
 - ・ほわいえが廃刊になって大変困っている。当面館内に当月予定を記してほしい。
 - ・近隣駐車場に停めたが、県劇正門まで回らずに他の入口を開けて（駐車場「あまりよくない」）
 - ・案内人がいない、障がい者にやさしくない、施設が非常に使いづらく苦労した（全項目「わるい」）

[アンケートを参考に設置した備品等]

設置した備品	設置場所	内容
ドアクローザー交換	管理棟事務所横授乳室	ベビーカーでも授乳室へ入りやすくする
誘導棒の増設	両ホール	火災・地震等災害避難時に利用
台車の更新	事務所前	軽量化し、利用しやすくする
Wi-Fi 工事	特別会議室、応接室	来賓待機に使用する部屋のネット環境の改善

(9) 県立劇場の施設等の維持および修繕に関する業務

① 駐車場管制設備の更新と駐車場舗装工事

既設機器の老朽化に対応するため、県の施工により新たに駐車場管制設備を更新しました。キャッシュレス決済が可能となったほか、多発していた釣銭トラブルが劇的に減少しました。

また、県の施工で令和7年12月から駐車場舗装工事が開始しました。水溜まり箇所の改善と駐車ます（駐車スペース）の拡張が主な目的で、駐車可能台数はわずかに減少しますが、利用者の利便性の向上が期待できます。

② 施設設備の維持管理

令和7年度は、計画的な樹木選定と、落葉・落枝・枯死等に迅速に対応し、伐採・伐根（6区画 約5,770千円）を行い、景観の美化と近隣住民の不安解消に努めました。また、10年経過した消火器の更新したほか（計126本）、設備や機器の更新、取換工事などの施設設備の修繕工事を、迅速かつ効率的に行いました。

場所	内容
コンサートホール	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ（オストメイト）修繕 ・音響卓液晶基板交換 ・調光卓用無停電電源装置交換
演劇ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・照明調光卓是正ソフトの更新 ・舞台下手袖雨水管漏水修理 ・エレベーターバッテリー交換 ・DMXパッチ盤内直流電源取替工事 ・奈落排煙ダンパーの修繕 ・授乳室授乳用温水器水漏れ修繕 ・給湯器の修繕 ・楽屋壁の修繕
大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・レールカーテンライトLED不点灯の交換
中央監視室	<ul style="list-style-type: none"> ・AC-2（コンサートホール客席2,3F）空調機インバーター修繕 ・AC-14（大会議室）空調機動力盤、モーターの修繕
全館	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイエ・エントランス椅子張替え（全250脚） ・練習室壁の修繕 ・リハーサル室前排煙口修繕 ・正面玄関側歩道タイル修繕 ・監視カメラのケーブル引き替え（2台） ・エアドッグ（空気清浄機）修繕 ・屋上空冷チラーR-4Sの修繕 ・チケットプリンター修繕
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラ及び同軸LANコンバーター修繕 ・精算機新紙幣対応

熊本県立劇場管理運営業務仕様書にある「県立劇場の施設・設備の維持及び修繕に関する業務」の各項目を確実に実施していくことに努めています。保守点検や修繕工事は、施設利用日数への影響が最小となるよう効率的に行っており、保守点検等委託業務にあたっては財団職員が監督し、細心の注意を払いながら実施しました。

[施設維持管理業務]

項目	内容
施設管理	清掃、建築物環境衛生管理、警備、庭園管理、設備運転監視・施設設備定期点検
空調管理	中央監視装置及び空調用自動制御機器保守点検、空調設備点検、ボイラー排ガス測定、冷温水発生器保守点検、ヒートポンプチラー点検
設備管理(舞台)	迫り装置等保守点検、照明設備保守点検、吊物装置等保守点検、音響設備保守点検、エレベーター装置等保守点検
楽器類	ピアノ保守点検
設備維持管理	エレベーター保守点検、自動ドア保守点検、駐車場機器保守点検、自家発電設備保守点検、防災設備定期点検、高圧電気設備定期点検、緊急ガス遮断設備等点検、地下污水ピット清掃、高架水槽清掃、飲料水水質検査、防火設備定期点検、特定建築物定期調査、建築設備定期点検、アスベスト濃度測定、大会議室空気清浄機保守点検
その他	廃棄物処理、トイレ洗浄機・消臭器交換、玄関マット

③ 危機管理の対応

災害発生時には多大な被害が発生することが予想されるため、日頃から劇場職員の危機管理に関する知識の習得と意識の向上をはじめ、以下を実践しています。

公演本番時に危機管理責任者および危機管理担当者を配置

危機管理者には甲種防火管理者を充て、令和7年度6人が取得。計19人の職員が取得済み。

緊急事態に備え、危機管理体制表に基づき主催者と連携し、来館者の安全を確保

消防訓練や避難訓練など、危機管理に関する訓練および研修の実施

訓練前に防火対策委員会を開き、訓練の目的や流れを確認。訓練後は振り返りを行い職員間で情報を共有、次の訓練に活かしています。

[訓練実績]

実施日	項目	概要
4月25日	小規模防災訓練	前回の地震訓練で課題に上がったトランシーバーの使い方についての研修を中心に実施。
5月20日	防災訓練(地震訓練)	震度7の大規模地震を想定した避難訓練。
6月27日	小規模防災訓練	7/8のテロ対応合同訓練に向け、全体の流れと役割分担の確認。
7月8日	テロ対応合同訓練	熊本県警察本部第二課との合同訓練を実施。不審電話受理訓練及び110番通報訓練、避難誘導訓練等熊公文協加盟館職員も参加して行った。
9月16日	防災訓練(消防訓練)	コンサートホール付近での火災を想定。防災センターから舞台スタッフへの第一報の緊急連絡、防災センターからの館内アナウンス、ホール担当職員と主催者との連携等を重点的に確認した。

11月20日	消防訓練	コンサートホール舞台袖での火災を想定した訓練を実施。防災センターから舞台スタッフへの連絡、催事担当と主催者との連携等一連の流れを確認しながら進めた。
令和8年 1月15日	避難訓練	コンサートホール舞台袖での火災を想定した訓練を実施。防災センターから舞台スタッフへの連絡、催事担当と主催者との連携等一連の流れを確認しながら進めた。
1月31日	避難訓練コンサート	熊本市消防局協力・演奏による、コンサート中の火災を想定した避難訓練。事前申込みにより500名の市民が観客として参加した。

④ スタインウェイピアノの更新

昨年度に引き続き、スタインウェイピアノ1台を更新。7月29日にスタインウェイジャパン(株)本社でピアノの選定を行い、8月27日に納品されました。

⑤ 8月の大雨に伴う催事の中止・延期

8月10日、県内に「線状降水帯発生予測情報」が発表。11日未明から昼前にかけて、玉名市、長洲町、八代市、上天草市等5市2町に大雨特別警報が発表されました。

8月11日の施設利用については、来館者の安全を優先するため、主催者・利用者と協議のうえ、開催を中止または延期としましたが、大きな混乱は見られませんでした。

なお、劇場、劇場駐車場については、通常通り営業。11日朝、館内の点検で雨漏りが確認されましたが、応急処置を行い12日は通常通り開館しました。

(10) その他、県立劇場の管理上必要と認める業務

① 便益設備の管理

県立劇場内に自動販売機を事務所前と地下1階リハーサル室前に計3台設置しているほか、利用者向けにデジタルフルカラー複合機1台を事務所前に設置、利用者の利便性を確保しました。

② 行政財産の目的外使用に係る経費の取扱い

県立劇場内の行政財産の目的外使用（レストラン、自動販売機等）に係る光熱水費は、翌月1日に使用量を計算し各業者に請求書を発行しています。各業者からは請求書に基づき、翌月末日までにその費用を徴収し、遅滞なく電力会社等に支払いました。

③ 駐車場対策

多数の来場者が予想される場合は、事前に主催者に対し、ポスターやチラシ、チケットへの満車情報や公共交通機関利用促進の記載等協力を依頼。ホームページも駐車場管制設備更新に合わせより見やすくなりました。

また、催物の開演・終演前後で劇場駐車場及び周辺道路の混雑が予想される際は、予め交通誘導整理員を配置し来場者の安全確保を図りました。12月から駐車場舗装整備工事により駐車台数が減少したこともあり、例年以上に満車回数が増え、今年度は124回（令和6年度45回）、192人（令和6年度131人）の業務委託整理員を配置しました。

また、終演後一斉出庫により混雑が予想される場合も、誘導員を配置して駐車場内の整理を確実に行い、渋滞緩和対策を行いました。



■資料

□資料1 [施設使用許可件数] (単位:件)

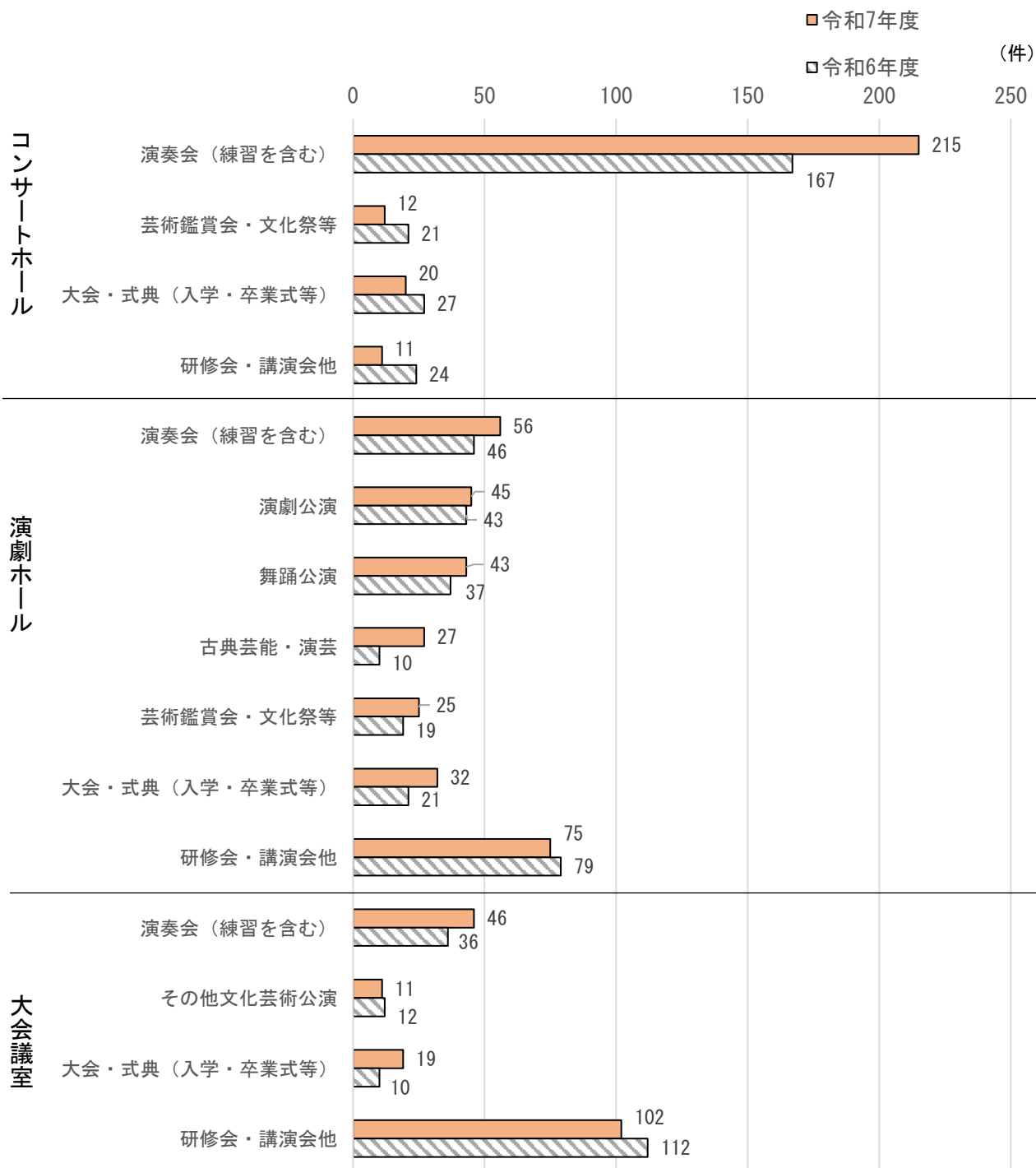
	令和7年度	令和6年度	前年度比
使用許可件数(団体数)	874	1,144	-270

※令和6年度のシステム更新に伴い、R6.4の使用許可件数は、R5と重複の可能性あり。

□資料2 [施設別利用状況(ホール・大会議室)] (単位:日)

施設名	利用状況	令和7年度	令和6年度	前年度比
コンサートホール	利用可能日数	266	276	-10
	利用日数	210	214	-4
	利用率(%)	78.9	77.5	1.4
	入場者数(人)	170,885	182,221	-11,336
演劇ホール	利用可能日数	281	269	12
	利用日数	240	224	16
	利用率(%)	85.4	83.3	2.1
	入場者数(人)	131,024	115,753	15,271
大会議室	利用可能日数	316	310	6
	利用日数	155	155	0
	利用率(%)	49.1	50.0	-0.9
	入場者数(人)	22,196	20,560	1,636
和室	利用可能日数	328	327	1
	利用日数	101	74	27
	利用率(%)	30.8	22.6	8.2
	入場者数(人)	2,147	1,384	763
音楽リハーサル室	利用可能日数	331	322	9
	利用日数	240	230	10
	利用率(%)	72.5	71.4	1.1
	入場者数(人)	17,525	16,750	775
演劇リハーサル室	利用可能日数	324	322	2
	利用日数	175	178	-3
	利用率(%)	54.0	55.3	-1.3
	入場者数(人)	9,957	11,029	-1,072
第1練習室	利用可能日数	324	326	-2
	利用日数	159	165	-6
	利用率(%)	49.1	50.6	-1.5
	入場者数(人)	9,993	11,400	-1,407
第2練習室	利用可能日数	326	323	3
	利用日数	241	218	23
	利用率(%)	73.9	67.5	6.4
	入場者数(人)	8,391	5,334	3,057
第3練習室	利用可能日数	329	326	3
	利用日数	209	260	-51
	利用率(%)	63.5	79.8	-16.3
	入場者数(人)	9,222	7,954	1,268
他の入場者数	入場者数(人)	103,969	86,840	17,129
入場者数合計(人)		485,309	459,225	26,084

□資料3 [ホール別・形態別利用状況 (ホール・大会議室)] (単位:件)



□資料4 [ホール等の年度別月別利用状況表]

[コンサートホール・演劇ホール・大会議室]

施設名	年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)
コンサート ホール	利用可能日数	25日		25日		22日		26日		24日		18日		26日	
	令和7年度	14	56.0%	14	56.0%	14	63.6%	22	84.6%	22	91.7%	15	83.3%	26	100.0%
	利用可能日数	25日		25日		24日		27日		24日		20日		24日	
	令和6年度	16	64.0%	15	60.0%	19	79.2%	22	81.5%	22	91.7%	15	75.0%	23	95.8%
	利用可能日数	26日		26日		26日		27日		26日		25日		25日	
	令和5年度	20	76.9%	12	46.2%	16	61.5%	25	92.6%	22	84.6%	22	88.0%	25	100.0%
	利用可能日数	28日		26日		23日		29日		26日		21日		26日	
	令和4年度	14	50.0%	15	57.7%	14	60.9%	23	79.3%	20	76.9%	13	61.9%	24	92.3%
	利用可能日数	22日		24日		24日		26日		29日		23日		26日	
	令和3年度	10	45.5%	7	29.2%	4	16.7%	20	76.9%	14	48.3%	11	47.8%	12	46.2%
	利用可能日数	4日		10日		22日		25日		27日		24日		21日	
	令和2年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	28.0%	8	29.6%	13	54.2%	4	19.0%
	利用可能日数	26日		22日		23日		26日		28日		24日		23日	
	令和元年度	14	53.8%	15	68.2%	16	69.6%	22	84.6%	21	75.0%	17	70.8%	19	82.6%
	利用可能日数	26日		26日		24日		29日		27日		25日		26日	
	平成30年度	19	73.1%	19	73.1%	17	70.8%	23	79.3%	24	88.9%	17	68.0%	18	69.2%
	利用可能日数	26日		27日		24日		29日		26日		26日		25日	
平成29年度	19	73.1%	15	55.6%	14	58.3%	21	72.4%	19	73.1%	14	53.8%	19	76.0%	
利用可能日数	12日		0日		0日		0日		7日		26日		25日		
平成28年度	6	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	57.1%	19	73.1%	23	92.0%	
利用可能日数	25日		24日		24日		27日		26日		24日		20日		
演劇ホール	令和7年度	21	84.0%	17	70.8%	21	87.5%	25	92.6%	23	88.5%	22	91.7%	18	90.0%
	利用可能日数	25日		24日		25日		27日		25日		22日		22日	
	令和6年度	23	92.0%	20	83.3%	20	80.0%	25	92.6%	18	72.0%	19	86.4%	21	95.5%
	利用可能日数	26日		26日		26日		26日		29日		25日		24日	
	令和5年度	22	84.6%	20	76.9%	22	84.6%	23	88.5%	26	89.7%	21	84.0%	22	91.7%
	利用可能日数	28日		24日		25日		29日		27日		24日		24日	
	令和4年度	16	57.1%	17	70.8%	24	96.0%	24	82.8%	18	66.7%	18	75.0%	22	91.7%
	利用可能日数	22日		21日		26日		29日		29日		21日		24日	
	令和3年度	17	77.3%	12	57.1%	12	46.2%	23	79.3%	10	34.5%	11	52.4%	14	58.3%
	利用可能日数	4日		8日		23日		28日		28日		24日		21日	
	令和2年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	28.6%	10	35.7%	11	45.8%	13	61.9%
	利用可能日数	26日		20日		28日		28日		28日		23日		23日	
	令和元年度	15	57.7%	10	50.0%	20	71.4%	27	96.4%	22	78.6%	18	78.3%	22	95.7%
	利用可能日数	0日		0日		0日		0日		13日		23日		26日	
	平成30年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	84.6%	18	78.3%	22	84.6%
	利用可能日数	26日		25日		25日		29日		29日		25日		24日	
	平成29年度	17	65.4%	14	56.0%	17	68.0%	24	82.8%	21	72.4%	21	84.0%	20	83.3%
利用可能日数	12日		0日		0日		0日		7日		28日		24日		
平成28年度	8	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	71.4%	24	85.7%	23	95.8%	
利用可能日数	26日		28日		28日		29日		28日		25日		28日		
大会議室	令和7年度	7	26.9%	15	53.6%	9	32.1%	19	65.5%	14	50.0%	14	56.0%	10	35.7%
	利用可能日数	25日		27日		28日		29日		26日		25日		27日	
	令和6年度	11	44.0%	9	33.3%	13	46.4%	19	65.5%	14	53.8%	15	60.0%	11	40.7%
	利用可能日数	26日		26日		28日		29日		28日		26日		27日	
	令和5年度	8	30.8%	11	42.3%	16	57.1%	17	58.6%	15	53.6%	16	61.5%	15	55.6%
	利用可能日数	28日		27日		28日		29日		29日		24日		27日	
	令和4年度	10	35.7%	13	48.1%	17	60.7%	13	44.8%	11	37.9%	12	50.0%	21	77.8%
	利用可能日数	21日		18日		28日		29日		28日		24日		27日	
	令和3年度	6	28.6%	9	50.0%	3	10.7%	13	44.8%	9	32.1%	5	20.8%	7	25.9%
	利用可能日数	13日		20日		24日		29日		28日		26日		24日	
	令和2年度	0	0.0%	1	5.0%	5	20.8%	2	6.9%	10	35.7%	9	34.6%	10	41.7%
	利用可能日数	26日		26日		28日		29日		29日		26日		27日	
	令和元年度	16	61.5%	20	76.9%	18	64.3%	25	86.2%	22	75.9%	20	76.9%	19	70.4%
	利用可能日数	26日		27日		28日		29日		29日		26日		26日	
	平成30年度	20	76.9%	17	63.0%	17	60.7%	21	72.4%	19	65.5%	14	53.8%	19	73.1%
	利用可能日数	26日		28日		28日		29日		29日		27日		27日	
	平成29年度	7	26.9%	4	14.3%	9	32.1%	14	48.3%	11	37.9%	10	37.0%	7	25.9%
利用可能日数	12日		0日		0日		0日		7日		29日		25日		
平成28年度	7	58.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	71.4%	28	96.6%	19	76.0%	

施設名	年度	11月		12月		1月		2月		3月		計	
		利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)
コンサート ホール	利用可能日数	19日		16日		21日		21日		23日		266日	
	令和7年度	15	78.9%	14	87.5%	16	76.2%	17	81.0%	21	91.3%	210	78.9%
	利用可能日数	20日		18日		23日		24日		22日		276日	
	令和6年度	18	90.0%	14	77.8%	14	60.9%	15	62.5%	21	95.5%	214	77.5%
	利用可能日数	12日		0日		0日		0日		15日		208日	
	令和5年度	12	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	100.0%	169	81.3%
	利用可能日数	21日		23日		15日		15日		17日		270日	
	令和4年度	18	85.7%	19	82.6%	14	93.3%	15	100.0%	17	100.0%	206	76.3%
	利用可能日数	24日		24日		23日		26日		26日		297日	
	令和3年度	17	70.8%	14	58.3%	5	21.7%	8	30.8%	15	57.7%	137	46.1%
	利用可能日数	0日		0日		0日		0日		12日		145日	
	令和2年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	75.0%	41	28.3%
	利用可能日数	23日		20日		24日		25日		26日		290日	
	令和元年度	19	82.6%	17	85.0%	15	62.5%	10	40.0%	1	8.3%	186	64.1%
	利用可能日数	27日		21日		18日		3日		17日		269日	
	平成30年度	22	81.5%	15	71.4%	13	72.2%	2	66.7%	16	94.1%	205	76.2%
利用可能日数	28日		15日		16日		0日		12日		254日		
平成29年度	20	71.4%	15	100.0%	13	81.3%	0	0.0%	12	100.0%	181	71.3%	
利用可能日数	25日		24日		26日		23日		16日		184日		
平成28年度	18	72.0%	23	95.8%	14	53.8%	16	69.6%	16	100.0%	139	75.5%	
演劇ホール	利用可能日数	23日		22日		20日		22日		24日		281日	
	令和7年度	23	100.0%	20	90.9%	12	60.0%	18	81.8%	20	83.3%	240	85.4%
	利用可能日数	16日		17日		22日		22日		22日		269日	
	令和6年度	16	100.0%	16	94.1%	12	54.5%	17	77.3%	17	77.3%	224	83.3%
	利用可能日数	12日		0日		0日		0日		15日		209日	
	令和5年度	12	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	93.3%	182	87.1%
	利用可能日数	21日		23日		19日		21日		26日		291日	
	令和4年度	19	90.5%	19	82.6%	10	52.6%	17	81.0%	19	73.1%	223	76.6%
	利用可能日数	22日		24日		22日		26日		27日		293日	
	令和3年度	13	59.1%	18	75.0%	12	54.5%	15	57.7%	21	77.8%	178	60.8%
	利用可能日数	0日		0日		0日		0日		10日		146日	
	令和2年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	70.0%	49	33.6%
	利用可能日数	24日		19日		22日		24日		26日		291日	
	令和元年度	22	91.7%	19	100.0%	19	86.4%	13	54.1%	0	0.0%	207	71.1%
	利用可能日数	26日		21日		18日		3日		17日		147日	
	平成30年度	21	80.8%	20	95.2%	15	83.3%	3	100.0%	14	82.4%	124	84.4%
利用可能日数	28日		15日		16日		0日		0日		242日		
平成29年度	22	78.6%	15	100.0%	14	87.5%	0	0.0%	0	0.0%	185	76.4%	
利用可能日数	25日		24日		24日		24日		20日		188日		
平成28年度	20	80.0%	23	95.8%	18	75.0%	22	91.7%	20	100.0%	163	86.7%	
大会議室	利用可能日数	25日		22日		24日		25日		28日		316日	
	令和7年度	16	64.0%	10	45.5%	10	41.7%	18	72.0%	13	46.4%	155	49.1%
	利用可能日数	25日		23日		25日		25日		25日		310日	
	令和6年度	12	48.0%	11	47.8%	9	36.0%	14	56.0%	17	68.0%	155	50.0%
	利用可能日数	12日		0日		0日		0日		15日		217日	
	令和5年度	9	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	40.0%	113	52.1%
	利用可能日数	22日		24日		19日		20日		26日		303日	
	令和4年度	17	77.3%	14	58.3%	5	26.3%	14	70.0%	13	50.0%	160	52.8%
	利用可能日数	25日		24日		24日		25日		26日		299日	
	令和3年度	8	32.0%	7	29.2%	5	20.8%	9	36.0%	14	53.8%	95	31.8%
	利用可能日数	0日		0日		0日		0日		12日		176日	
	令和2年度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	38	21.6%
	利用可能日数	27日		21日		25日		27日		27日		318日	
	令和元年度	22	81.5%	14	66.7%	13	52.0%	16	59.3%	0	0.0%	205	64.5%
	利用可能日数	26日		22日		22日		22日		27日		310日	
	平成30年度	18	69.2%	15	68.2%	9	40.9%	19	86.4%	20	74.1%	208	67.1%
利用可能日数	28日		23日		25日		26日		29日		325日		
平成29年度	9	32.1%	3	13.0%	1	4.0%	1	3.8%	14	48.3%	90	27.7%	
利用可能日数	27日		24日		26日		27日		7日		184日		
平成28年度	19	70.4%	16	66.7%	9	34.6%	19	70.4%	6	85.7%	128	69.6%	

□資料5 [利用者アンケート]

No.	公演情報			満足度	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均	
	日時	公演名	主催者名				フロア	ステージ				
1	日時	令和7年5月30日(金) 令和7年5月31日(土)	公演名	「ラブ・レター」	—	3	4	4	4	4	4	3.8
	会場	演劇ホール	主催者名	夢語り千夜								
<p>熊本県立劇場の皆様には言葉にならないほど大変お世話になりました。30日中止連絡で関係各所の調整等、担当職員の皆さまにずっと見守り笑顔で対応くださいました。皆様のお力のおかげで31日は公演ができました。こんなに心温かい劇場は初めてでした。公演をさせていただいたことを心から感謝申し上げます。</p>												
2	日時	令和7年7月5日(土)	公演名	第33回「アフリカの子どもの日」 in Kumamoto	—	2	3	4	4	4	4	3.5
	会場	演劇ホール	主催者名	熊本県ユニセフ協会								
<p>例年利用させていただいていることから、劇場側から提案や便宜をいただいたきイベントをスムーズに進めることができた。七彩の交流会への協力も参加者の評判が良かった。</p>												
3	日時	令和7年7月11日(金) 令和7年7月13日(日)	公演名	HEART Global ミュージック・アウ トリーチ2025 夏 in 熊本	3	2	3	4	3	4	4	3.2
	会場	演劇ホール	主催者名	NPO法人じぶん未来クラブ								
<p>2階席へのEVがないのが少し不便</p>												
4	日時	令和7年7月19日(土) 令和7年7月20日(日)	公演名	マッスルゲート熊本大会 2025	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	演劇ホール	主催者名	株式会社THINKフィットネス								
<p>・少し携帯電話の電波が入りづらいのが気になったくらいです。でもこれは屋内の会場でしたら仕方ないと思います。 ・毎年会場を使わせて頂きとても助かっております。とりわけ受付担当者にはご配慮頂き、無事にイベントが開催できております。ありがとうございます。</p>												
5	日時	令和7年7月21日(月祝)	公演名	フルートの森コンサート	3	3	3	3	4	3	3	3.2
	会場	コンサートホール (ホワイエのみ)	主催者名	フルートアンサンブル エンジェルプレス								
6	日時	令和7年7月16日(水)	公演名	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会場	練習室	主催者名	練習室利用者(無記名)								
<p>クーラーを各部屋で調整できるようにしてほしいです。</p>												
7	日時	令和7年8月8日(金)	公演名	ダンスの練習	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	Lua Dance Production								
8	日時	令和7年8月16日(土)	公演名	flute duo & piano concert	4	4	4	4	3	4	4	3.8
	会場	コンサートホール	主催者名	luce music								
<p>初めてのコンサートということもあり、運営面も不安がありましたが、劇場スタッフの皆様には、大変ご配慮頂き、助けて頂きました。また使用する際には宜しくお願い致します。</p>												
9	日時	令和7年8月19日(火)	公演名	バックステージツアー	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	コンサートホール	主催者名	大江小学校家庭教育学級								
<p>利用に際して、様々なご配慮をいただき大変ありがとうございました。おかげさまで支援学校の生徒たちも、不安なく演奏を楽しむことができました。椅子の座面に置くエアウィーブお貸し頂いたおかげで、快適に鑑賞を楽しむことができました。</p>												
10	日時	令和7年8月20日(水)	公演名	九州学院高校説明会2025	3	3	4	4	4	4	4	3.7
	会場	コンサートホール	主催者名	学校法人九州学院								
<p>大会議室の空調の故障を受け、和室や小会議室をご手配いただき、またその後の復旧も速やかで大変助かりました。終了が予定時刻の15時を30分も過ぎてしまい、迎えの保護者の車両でロータリー周辺が混雑しました。この点をふまえ校内で運営を見直します。ご迷惑をおかけしました。</p>												
11	日時	令和7年8月22日(金)	公演名	チアーズトリオなつやすみファミ リーコンサート2025	3	3	4	4	3	4	4	3.5
	会場	コンサートホール	主催者名	チアーズトリオ								
<p>フルコンのピアノに変わるということで、アンサンブルのバランスが取りづらくなるのではないかと懸念しています。また、座席数がMAX200と聞いておりますので、200席まで追加料金がかからなければ良いと思います。その他はとても気に入っております！いつもお世話になっており、ありがとうございます。</p>												

No.	公演情報			満足度	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均
							フロア	ステージ			
12	日時	令和7年8月28日(木)	公演名	演劇の練習	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	第二高等学校演劇部							
13	日時	令和7年10月14日(火)	公演名	熊本市立白川中学校 合唱コンクール	3	2	4	4	4	4	3.5
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本市立白川中学校							
雨の日に劇場を利用する時に、客席分の傘立てがあればいいと思います。大きなバケツ等でよいので、貸し出しがあると助かります。											
14	日時	令和7年11月1日(土)	公演名	新沢としひこ&ケロポンズ おもしろコンサート2025	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	演劇ホール	主催者名	おもしろコンサートの会							
15	日時	令和7年11月2日(日)	公演名	—	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	熊本第二高校演劇部							
利用させていただきありがとうございました！											
16	日時	令和7年11月8日(土)	公演名	出水小学校150周年 学習発表会	4	3	3	4	4	3	3.5
	会場	演劇ホール	主催者名	熊本市立出水小学校							
17	日時	令和7年11月8日(土)	公演名	—	3	3	4	3	4	4	3.5
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	熊本ユースシンフォニーオーケストラ							
音楽リハーサル室、一部携帯キャリアの電波が全く届かない(docomo以外)ので、改善できれば皆さん喜ぶと思います。											
18	日時	令和7年11月15日(土)	公演名	高平台なかよし合奏クラブ50周年 コンサート	4	1	3	4	4	4	3.3
	会場	コンサートホール	主催者名	高平台なかよし合奏クラブ							
大変柔軟な対応をしていただき、本当にありがとうございました。スタッフの方々には本当にお世話になり、当日も円滑な進行そして素敵な演奏会となりましたことを感謝しております。ありがとうございました。											
19	日時	令和7年11月24日(月)	公演名	黒岩航紀ピアノリサイタル	4	3	4	4	4	4	3.8
	会場	コンサートホール	主催者名	㈱大谷楽器							
20	日時	令和7年11月27日(木)	公演名	令和7年度 熊本県更生保護事業 功労者顕彰式	4	3	4	4	4	4	3.8
	会場	演劇ホール	主催者名	熊本保護観察所							
21	日時	令和7年11月28日(金)	公演名	令和7年度つばめこども園生活 発表会	4	3	4	4	4	4	3.8
	会場	演劇ホール	主催者名	つばめこども園							
今回、PHSをお借りしていなかったので、ホワイエの係と連絡を取るのが大変でした。あったのであれば、お借りしたかったです。スタッフの皆さまがとても親切にいろいろ教えて下さり大変有難かったです。お世話になりました。											
22	日時	令和7年11月29日(土)	公演名	スマイル吹奏楽フェスタ～次世代の ためのコンサート～	4	2	3	4	4	4	3.4
	会場	コンサートホール	主催者名	慶誠高等学校吹奏楽部							
年間に何度と利用させていただいております。県劇の皆様にはいつも大変お世話になっております、事務所スタッフ、舞台スタッフ、清掃の皆様、本当に爽やかに県劇では良い思い出ばかりです。今のままでも十分に利用しやすい環境かと思っております。上記、備品にたくさんチェックを入れましたが、あっても困らないものに入れました。今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。											
23	日時	令和7年12月2日(火)	公演名	だいいちようちえん おんがくかい	4	2	4	4	4	4	3.6
	会場	演劇ホール	主催者名	第一幼稚園							
先日は大変お世話になりました。舞台が広く子どもたちの声はどこまで届くか気になっていましたが、会場から「きれいに聴こえたよ」との反応に嬉しく思いました。舞台においても手際良く臨機応変に対応して下さったことや担当者様にも丁寧にご対応いただきましてありがとうございました。											

No.	公演情報			満足度	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均
							フロア	ステージ			
24	日時	令和7年12月13日(土)	公演名	熊本音楽幼稚園たのしい発表会	4	1	4	4	4	4	3.4
	会場	演劇ホール	主催者名	熊本音楽幼稚園							
大変お世話になり、ありがとうございました。工事終了後、また使わせていただけることを願っています。											
25	日時	令和7年12月14日(日)	公演名	武蔵ヶ丘幼稚園たのしいはっぴようかい	4	2	4	4	3	4	3.4
	会場	演劇ホール	主催者名	武蔵ヶ丘幼稚園							
スタッフの皆様にご協力いただき、無事に終わることができ、ありがとうございました。2年間使えないのがとても残念です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。											
26	日時	令和7年12月19日(金)	公演名	西部音楽幼稚園 たのしい発表会	3	2	4	4	4	4	3.5
	会場	演劇ホール	主催者名	西部音楽幼稚園							
27	日時	令和8年1月7日(水)	公演名	熊本高校弦楽オーケストラ部 合唱部 練習	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本高校弦楽オーケストラ部							
今回は12月利用予定だった分をインフルエンザで学級閉鎖等もあり、利用が難しくなったところ日程変更を快く受けていただき、大変助かりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。											
28	日時	令和7年12月24日(水)	公演名	美鈴幼稚園 たのしい発表会	2	2	3	3	3	4	2.8
	会場	演劇ホール	主催者名	認定こども園 美鈴幼稚園							
何十年と、利用させていただいていますが今回初めてスタッフや舞台技術職員(親切でしたが)さんとの相違があり進行等に戸惑いがあり残念でした。											
29	日時	令和8年1月14日(水)	公演名	FFGニューイヤーコンサートin熊本	4	4	3	4	4	4	3.8
	会場	コンサートホール	主催者名	公益財団法人九州交響楽団							
30	日時	令和8年1月26日(月)	公演名	令和7年度 熊本高等学校予餞会	3	2	4	4	4	4	3.5
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本県立熊本高等学校							
何度も打ち合わせしていただき、また本番も臨機に対応していただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。											
31	日時	令和8年2月1日(日)	公演名	岩津整明先生追悼演奏会	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	コンサートホール	主催者名	合唱団LeGrazie							
演奏会開催にあたり大変お世話になりました。											
32	日時	令和8年2月3日(火)	公演名	オーケストラ練習	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	熊本交響楽団							
日頃よりお世話になっています。利用に関しては不便などを感じる事はございません。ホール使用時も素早い対応をして頂いておりますので感謝致しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします											
33	日時	令和8年2月7日(土)	公演名	吹奏楽練習	4	3	4	4	-	4	3.8
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	高千穂町吹奏楽連合会【tzedakah】							
34	日時	令和8年2月8日(日)	公演名	バレエスタジオキャンディ 創立5周年記念公演	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	演劇ホール	主催者名	バレエスタジオキャンディ							
初めて利用させていただきました。相談の段階から、とても皆さんに親切丁寧に対応していただき、安心して計画をすることができました。担当の寺川さんと、黒木さんには特にお世話になりました。当日も最後までご協力くださり、感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのお客様の中、ケガや事故等なく、スムーズに進行でき、盛会の中終演することができました。ぜひ、また県立劇場で発表会を開催したいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。											
35	日時	令和8年2月12日(木)	公演名	第51回九州公演日本フィルin Kyushu2026熊本演奏会	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本日本フィルの会							
①楽屋の廊下の空調がない?ため、寒い。 ②個室楽屋に施錠ができず、防犯上心配である。(鍵は渡されなくなった?)											

No.	公演情報			満足度	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均
	日時	公演名	主催者名				フロア	ステージ			
36	日時	令和8年2月20日(金)	公演名	誠櫻幼愛園 生活発表会	4	2	4	4	4	4	3.7
	会場	演劇ホール	主催者名	社会福祉法人誠友福祉会誠櫻幼愛園							
改修工事期間中、使用できないのが大変残念です											
37	日時	令和8年2月24日(火)	公演名	熊本高校弦楽オーケストラ部と熊大附属特別支援学校との音楽交流会	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本大学教育学部附属特別支援学校							
音楽のコンサートが多い印象で、子連れは大変だから・・・と足が遠のいておりましたが、舞台も面白そうだなと感じました。ありがとうございました。											
38	日時	令和8年2月27日(金)	公演名	ピアノ練習	4	3	4	4	3	4	3.7
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	高坂 明子							
39	日時	令和8年2月28日(土)	公演名	くまもと音人ファミリーコンサート	3	4	3	4	3	4	3.5
	会場	コンサートホール	主催者名	(一社)くまもと音楽・文化交流振興ラボ							
40	日時	令和8年3月4日(水)	公演名	ウエディングフォト(結婚式前撮り撮影)	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	コンサートホール	主催者名	haco photo studio							
ウエディングフォトの撮影にて、コンサートホールのホワイエを利用させていただきました。急な問い合わせ、申し込みにも関わらず親切に対応いただき、また日程変更の要望にも快く対応いただきました。料金のお支払い時、撮影当日の立ち合いなど、全てのスタッフの方の対応もとてもよくしていただきました。次回以降は、早めに申し込みさせていただき、利用させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。											
41	日時	令和8年3月1日(日)	公演名	熊本被災地復興支援吹奏楽コンサート	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	演劇ホール	主催者名	医療法人春水会 山鹿中央病院							
控室へ入室時寒かったが、熊本城ホールのスタッフ連携より連携が素晴らしく、こちらが伝えたことをしっかり共有されており大変満足です。使用料金もリーズナブルで、ぜひ来年も使用したいと思います。裏方のスタッフの方も優しく丁寧な対応で感謝しています。											
42	日時	令和8年3月4日(水)	公演名	—	3	2	3	4	4	4	3.3
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	the SHot!							
43	日時	令和8年3月5日(木)	公演名	—	4	2	3	4	4	4	3.5
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	実践体育学体操三井島システム							
44	日時	令和8年3月6日(金)	公演名	令和7年度九州中央リハビリテーション学院卒業式	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	コンサートホール	主催者名	九州中央リハビリテーション学院							
45	日時	令和8年3月7日(土)	公演名	—	3	3	4	4	4	4	3.7
	会場	和室	主催者名	藤豊會							
利用日に確実に駐車できるようにしていただきたい。											
46	日時	令和8年3月14日(土)	公演名	—	3	2	3	4	3	4	3.2
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	熊本市民吹奏楽団							
47	日時	令和8年3月17日(火)	公演名	令和7年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部卒業式	4	3	2	4	4	4	3.5
	会場	演劇ホール	主催者名	尚綱大学・大倉達也							
48	日時	令和8年3月18日(水)	公演名	熊本工業専門学校 卒業証書授与式(第42回)	4	4	4	4	4	4	4.0
	会場	演劇ホール	主催者名	熊本工業専門学校							
3/18卒業式はお世話になりました。来賓・保護者が良かったと言っていました。4/10入学式もよろしくお願いいたします。											

No.	公演情報			満足度	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均
	日時	公演名	会場				主催者名	フロア			
49	日時	令和8年3月19日(木)	公演名	Youth Ballet Project 2026	4	3	4	4	4	4	3.8
	会場	演劇ホール	主催者名	唐杉さやか Youth Ballet Project							
いつも大変親切なご対応ありがとうございます。寺川さまに大変お世話になっています。感謝しかありません。											
50	日時	令和8年3月21日(土)	公演名	熊本県立第二高等学校吹奏楽部 第49回定期演奏会	4	3	4	4	4	4	3.8
	会場	コンサートホール	主催者名	熊本県立第二高等学校吹奏楽部							
いつも丁寧ありがとうございます											
51	日時	令和8年3月22日(日)	公演名	—	3	2	4	4	3	4	3.3
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	碧落アンサンブル							
駐車場の台数を増やして欲しい。											
52	日時	令和8年3月25日(水)	公演名	—	3	2	3	4	4	4	3.3
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	青年江原会							
53	日時	令和8年3月21日(土)	公演名	—	3	2	3	4	4	4	3.3
	会場	練習室・リハーサル室	主催者名	Full Bloom Magic							
4月からの平均値				3.7	2.7	3.7	3.9	3.8	4.0	3.6	

□資料 6 [文化事業評価委員会議事録]

第 1 回文化事業評価委員会

開催日時：令和 7 年 10 月 16 日（木）10:00～11:30

開催場所：熊本県立劇場 特別会議室

出席者：（文化事業評価委員）田中委員（進行）、米野委員、高田委員、納富委員、山崎委員
 （事務局）姜館長、吉永副館長、宮家局長、佐藤事業グループ長、永野、中野
 濱野、山崎、井田

《意見交換》

1. 台湾フィルハーモニック		説明：濱野
田中委員	非常に示唆的な内容だった。日本型を前提とするのではなく、「どう一緒に文化をつくるか」という視点が重要であり、その意味で今回の経験は大きい。評価も次にどう生かすかという視点で捉える必要がある。	
濱野	楽章ごとの拍手や写真撮影など、日本とは異なる鑑賞スタイルも見られたが、それも一つの文化として受け止めることが必要ではないかと感じた。	
山崎委員	熊本は拍手やスタンディングオベーションが少ない傾向がある。演奏者と観客が一体となる文化が広がると良い。	
佐藤	録音・撮影については著作権の観点から制限があるが、カーテンコールのみ許可するなど柔軟な対応も検討できる。多言語対応の強化も必要。	
2. 宇宙船イン・ビトゥーン号の窓		説明：中野
山崎委員	アフタートークが非常に有効であった。作品の意図や見方を事前・事後に補う資料があると、鑑賞体験がより深まる。	
納富委員	普段から不自由さを抱える方がこの作品を見たとき、情報保障が十分だったかという点が気になった。障害のある方への配慮も今後の検討課題ではないか。	
中野	今後は障害者対応も含め、より多様な観客に対応できる体制を検討したい。また、観客層は演劇関係者が中心だが、外国人来場者も一定数あった。多言語・多文化への対応は今後の課題。	
田中委員	異なる言語や文化が混在する中での緩やかなコミュニケーションを許容する場づくりが重要。	
3. 県劇盆踊り		説明：山崎
田中委員	地域に根付いたイベントとして定着してきており、季節の風物詩となりつつある。	
高田委員	盆踊りは人が自然に参加できる強いコンテンツであり、非常に有効な文化的手法。一方で清掃等、別の負担があると思うが、そこはどうか。	
山崎	劇場内開催のため、屋外イベントに比べて清掃面の負担が少ない点も特徴。	
4. ～けんげきキッズプログラム～ 九響 0歳からのオーケストラ		説明：井田
田中委員	来場者は1,482名に対し、アンケート回答者が21名と極端に少ないが、理由はあるか。	
井田	通常は紙とペンを配布しているが、今回 QR アンケートを採用したため回答数は少数に留まった。アンケートの結果としては、選曲がマタニティ向け寄りであったため、子ども向けとのギャップが課題。今後はターゲットに応じた内容調整を行う。	
田中委員	まず実施したことに意義があり、得られた課題を次に活かすことが重要。広報のあり方も検討が必要。	
山崎委員	来場者が多く運営面での課題（動線、滞留等）が見られた。事前案内や会場運営の工夫が必要。また、楽器紹介などの企画は、流動性を持たせる工夫が望ましい。	

田中委員	「0歳向け」と「マタニティ向け」のコンセプトの整理が必要。	
5. 第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ 「はじまりはじまり～県劇舞台づくり学校～」		
		説明：井田
納富委員	県芸術文化祭のスタートとして方向性がよく見えた。次世代が劇場をつくり上げる取り組みとして非常に意義がある。一方、来場時に駐車場が満車で、アクセス面には課題を感じた。	
佐藤	駐車場はこれ以上増やせず、工事により駐車可能台数も減少する見込みのため、今後は公共交通機関の利用促進にシフトしていく。その上で、両ホールの時間調整や事前周知の徹底など、内部で可能な対策を講じる。	
米野委員	終わったあとにワインを飲んだり、軽く食べたりしながら余韻を楽しめる場所があれば、少し流れも変わるかもしれない。	
高田委員	苦勞の大きい事業だったと思うが、その分、参加者同士の関係性や経験が今後の財産になると感じた。	
田中委員	来年度の施設改修期間を見据え、アウトリーチ型事業としても重要な取り組み。成功例だけでなく課題も含めて記録・共有することが重要。	
6, 7. ホワイエサロンシリーズ vol.11「芬の集い」、vol.12「朗読 夢十夜」		
		説明：中野、永野
田中委員	こうした取り組みの積み重ねが来年以降の県劇の大きな武器になっていくのではないかと感じる。これまで継続してきたことが、今後花開いていくのではないかと。	
納富委員	熊本出身の若手アーティストによる企画として、この場に非常にふさわしい公演だったと感じた。一方で、障害福祉分野の立場から考えると、そもそも障害のある方にとって「劇場に来る」という選択肢が日常の中にあるのか、という点を考える必要がある。来場された際の対応はできたとしても、まず劇場に来てもらうきっかけづくりが大事ではないか。無料招待のような形も含め、観劇が選択肢に上がるような働きかけが必要だと感じた。	
高田委員	(夢十夜は) 演者側としての発言になるが、非常にチャレンジングな企画だった。演者としてあの空間に立ったことで、観客として見ていた時とはまた違う形で、ホワイエという場の持つ意味や広がり、魅力を強く感じた。非常に良い事業だったと思う。	
田中委員	やったことを未来の糧にするためには、こうしたリフレクションは非常に大事である。特にホワイエサロンシリーズについては、来年の大規模改修も見据え、これまでの実践をきちんと整理しておく必要がある。	

《その他》

休館期間中は、これまでと同じ体制をそのまま続けるのではなく、公演事業とアウトリーチ、地域連携などの取組を少し整理しながら進めやすい体制を考えていく必要があるのではないかと意見があった。あわせて、県内各地での事業展開を見据え、人員配置や役割分担についても検討していくことが必要であり、休館中を新たな活動の形を模索する機会として捉えていく方向性が示された。

第2回文化事業評価委員会

開催日時：令和8年3月30日（月）13:30～15:30

開催場所：熊本県立劇場 特別会議室

出席者：（文化事業評価委員）田中委員（進行）、米野委員、高田委員、葉山委員、村上委員、山崎委員
 （事務局）姜館長、吉永副館長、宮家事務局長、金子舞台技術グループ長、
 佐藤事業グループ長、中野、濱野、山崎、井田、永野

《意見交換》

1. 舞台技術の基礎講座		説明：山崎
高田委員	参加者は高校生が多かったのか。また、舞台・音響・照明の各セクションへの振り分けは、本人希望によるものか、それとも人数調整によるものか。	
山崎	参加者は高校生が最も多かった。セクションについては、申込時に舞台・音響・照明の希望を出してもらい、1日目に各業務のレクチャーを受けたうえで、必要に応じて変更可能とした。人数の偏りを見て一部調整は行ったが、基本的には本人の希望を尊重した。2日目は各自が担当セクションに入り、仕込みから実施した。	
山崎委員	総まとめとは、具体的にどのような内容だったのか。	
金子	当初は本番を2回予定していたが、時間や人数の都合もあり、ゲネプロ1回と本番1回に変更した。リハーサルを含めて3回通す形となり、3回目を総まとめの本番と位置づけた。また、照明・舞台の両方を経験したい受講者もいたため、今回初めてフリーの枠を設け、オペレートはしないものの、袖から仕事の様子を見られるようにした。その結果、前から見るのと袖から見るのとでは全く違うことが分かり、非常に良い経験になったという声が多くあった。	
山崎委員	振り返りの中で、互いに良かった点を共有したり、褒め合ったりする時間はあったのか。	
金子	各回の合間に必ず振り返りを行い、「ここは良かった」や「次はこうしてみよう」など話し合ったうえで次に進む形を取った。	
村上委員	本番は一般のお客様を入れて行ったのか。やはり、お客様がいる場合といない場合では大きく違うと思う。	
山崎	一般のお客様の聴講は可能だったものの、一般向けの広報は十分にできておらず、視察希望者など関係者のみの受入れとなった。一般のお客様はいない状態での上演であった。	
田中委員	非常に関心を持たれる内容だった。今後さらに分かりやすく伝えていただければと思う。	
2. みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～		説明：山崎
田中委員	多様な文化の受け止め方や需要を感じる事業であり、言語を超えた共通体験を生み出す素晴らしいプログラムだと感じている	
委員	最後の回は参加者が多かったとのことだが、アシスタントを含めたスタッフ数は十分だったのか。	
山崎	九州ネットワーク会議の関係で、県外から視察を受け入れ、見守りスタッフとしても参加してもらった。合計12名程度が各回に分かれて関わっており、人数としては十分対応できたと思う。一方で、最後の回は参加者数も多く、スタッフが多すぎたことで、障害や特性のある参加者に圧迫感を与えてしまった可能性もあり、その点は振り返りとして残っている。	
3. 避難訓練コンサート		説明：中野
田中委員	近年の防災訓練は、従来の形式的なものではなく、さまざまなシナリオを想定する方向に変わってきている。今回もコロナ禍を経た12年ぶりの実施ということで、新たな発見が多かったのではないかと。一点、現場に無理がかかっていなかったか伺いたい。	

中野	防火管理委員会等で訓練内容を継続的に見直してきた積み重ねがあり、そのうえで今回の実施につながっている。想定より参加希望が多く、申込みは800名に達したため、直前まで受入れ対応には苦慮したが、事前準備を重ねた結果、当日は500名の参加で大きな事故なく実施できた。
村上委員	案内やアナウンスが終始落ち着いており、参加者も慌てることなく避難できていた。今回は火災想定だったが、地震の場合は参加者の心構えもまた違ってくるのではないかと思った。また、単なる訓練ではなく音楽も楽しめる内容だったので、今後はさらに参加したいと思う方が増えるのではないか。
田中委員	楽しみながら学べる訓練であることは大きな意義がある。劇場の来場者の間でも、防災を日常的に意識するきっかけになればよい。ぜひ今後も継続してほしい。
4. ホワイエサロンシリーズ vol.13「ホワイエ薪能」	
説明：永野	
田中委員	火を使う演出が難しい時代にあって、ホワイエという空間を生かした滝能の実施は非常に工夫された素晴らしい取組だと感じた。
高田委員	ホワイエで220人ほど集まったとのことだが、来場者層はどのような方々だったのか。また、ワークショップにはどのような層が参加していたのか。
永野	公演は年配の方が比較的多かった印象だが、能楽師とのつながりのある方や、もともと能に関心のある方に加え、若い方の来場も見られた。ワークショップには家族連れや子どもの参加もあり、必ずしも年配層だけではなかった。また、今回はパンフレットを多言語対応としたことで、韓国や台湾からの参加も見られた。
高田委員	チラシも非常に印象的で、潜在的に能に興味を持っている人に強く訴求する企画だと感じた。毎年は難しいとしても、定期的の実施できると非常に良いと思う。
米野委員	ワークショップの500円という価格設定も大きい。能は敷居が高いと感じる人にとって、入口として非常に有効であり、定期的を開催すれば来場は見込めるのではないか。
田中委員	無理のない範囲で、ぜひ継続的に取り組んでいただければと思う。
5. 劇場って楽しい!!	
説明：井田	
高田委員	和太鼓のような大きな音をこの事業で扱ったこと自体、大きな挑戦であり、高く評価したい。イヤーマフを追加で準備し、現場で適切に対応されたことも良かったと思う。 また、今回、和太鼓奏者を一音楽家として位置づけて扱った意義も大きい。 一方で、事業名や対象の表記について、グレーゾーンの子どもたちを受け入れている施設では、保護者への説明が難しいとの理由で参加を見送ったケースもあった。今後はネーミングや見せ方を検討する余地がある。将来的には、こうした取組が福祉のための特別なイベントではなく、一般公演の中にもリラクスパフォーマンス回として組み込まれていくことが理想ではないか。
田中委員	配慮のあり方や、どのように対象を示すかは非常に難しい問題である。一方で、これまでできなかったことができるようになったこと自体、大きな成果である。今後の工夫と社会の変化の両方が重要だと感じる。本日は欠席だが、実際に視察した納富委員からのご意見はあるか。
井田	評価レポートをいただいたほか、観客席の皆さんが非常に楽しそうで、とても良かったという感想をいただいている。
6. 演奏家派遣アウトリーチ事業	
説明：濱野	
村上委員	益城町で視察したが、ソプラノ歌手の高木さんが非常に良く、子どもたちの心をつかむのが上手だった。一方で、学校の先生方がやや受け身に見えた。事前により連携が取れていれば、子どもたちの学びはさらに深まったのではないかと思う。

濱野	これまでは忙しい学校現場に配慮し、先生方は聴いているだけでよい、という進め方をしてきた面がある。しっかりとした事前打合せができれば、先生方にももっと関わっていただける余地があり、より良い形になると思う。
村上委員	校歌を歌ったことも非常に良く、普段歌っている校歌でも、指導を受けた後では感じ方が変わり、今後につながる体験になったと思う。
山崎委員	ピアノのアウトリーチを拝見したが、子どもたちにとって身近な楽器であるピアノを、新しい形で体験できる良いプログラムだと感じた。また、知らない曲も楽しめるよう選曲や曲順にも工夫が見られ、演奏家が子どもたちにどう音楽を届けるかをよく考えていることが伝わってきた。
高田委員	今回のアウトリーチでは、演奏家が学校ごとの状況に応じて選曲するなど、オーダーメイドと一緒にプログラムを作っている点が印象的であり、地域担当としても意義深く感じた。 台本や進行が事前に共有されていれば、より提案や関与ができた可能性もある。今後は劇場がハブとなって地域ホール側にも一緒に作る担い手を増やしていくことが継続性につながるのではないかと。
佐藤	事前打合せには学校側にも参加いただいているが、当日の立会いを予定していた先生が急きょ対応できなくなることもある。そのため、基本的には学校側の関与がなくても進行できる形を前提としつつ、可能な範囲で先生方にも参加いただけるよう、負担とのバランスを見ながら進めていきたい。

《令和8年度事業の説明》

- ・令和8年度は9月まで劇場ホールを使用した公演を中心に実施予定。
- ・大型公演は、「チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル」、「佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 ヴァイオリン：三浦文彰」など多数予定。
- ・子ども向け事業として、「おどる絵本『みえるとか みえないとか』」を実施予定。
- ・「熊本県芸術文化祭オープニングステージ」は継続実施予定で、熊本地震10年の節目としてオーケストラと合唱によるマーラー「交響曲第2番《復活》」を予定。
- ・10月以降は劇場が閉館となるため、「演奏家派遣アウトリーチ事業」や市町村ホールとの連携による「市町村ネットワーク事業」を中心に展開予定。
- ・「ONE PIECE×人形浄瑠璃 清和文楽」公演を外部上演可能な形に再構築し、宇土市民会館での上演を予定。また、令和9年度の県外展開を見据えた準備事業と位置付けている。
- ・台湾の人形劇団との共演事業も予定しており、国際的な連携の強化も図る。
- ・演奏家派遣アウトリーチ事業の登録アーティストの募集・育成事業を実施し、研修・オーディションを経て次年度以降の派遣につなげることを予定。

